

12月4日～10日は 人権週間 ～『誰か』のことじゃない～

問い合わせ 生涯学習課 ☎0942-85-3694

記事ID 0088434

人権問題は全ての人に関係する身近なテーマであり、住みやすい社会を作っていくために大切にしなければならない重要な問題です。市民一人一人が幸せに生きるために、あらゆる人権問題を自身の問題として正しく理解し、ともに人権を尊重する行動をとる必要があります。皆さんもこの機会に『人権』について考えてみましょう。



市ホームページ

人権週間とは

全ての人間が生まれながらに基本的人権を持っているということを初めて公式に認めた『世界人権宣言』は、1948年12月10日、国連総会で『あらゆる人と国が

達成しなければならない共通の基準』として採択されました。これを記念し、毎年12月10日を『人権デー』、12月4日から10日までを『人権週間』として、世界的に人権尊重の意識高揚が図られています。

市の取り組み

サガン鳥栖人権啓発プロモーション

『みんなの人権』

- とき 12月1日(月)～12日(金)※閉庁・閉館日を除く
- ところ 市役所、各まちづくり推進センター
- 内容 サガン鳥栖の監督や選手などが出演する人権啓発のビデオを放映します
- 問い合わせ 生涯学習課(☎0942-85-3694)

人権パネル展

- とき 12月2日(火)～10日(水)
- ところ 市立図書館
- 問い合わせ 生涯学習課(☎0942-85-3694)

拉致問題パネル展

毎年12月10日から16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。

- とき 12月11日(木)～16日(火)
- ところ 市立図書館
- 問い合わせ 地域福祉課(☎0942-85-3553)



人権相談

『人権週間』に合わせて、人権相談の時間を拡大します。

- とき 12月10日(水)9時30分～15時30分
 - ところ 市役所3階大会議室3
 - 問い合わせ 市民協働課(☎0942-85-3576)
- ※毎月第2水曜日は、9時30分から12時まで、市役所1階市民協働課横の相談室で人権相談を行っています

人と人とを結ぶ思いやり標語

問い合わせ 学校教育課 ☎0942-85-3520

記事ID 0031555

市教育委員会が募集した『人と人とを結ぶ思いやり標語』に、小学生2,110点、中学生1,762点、計3,872点の応募があり、次のとおり入賞者が決まりました(敬称略)。入賞作品は、12月2日(火)から16日(火)まで市役所および市立図書館に展示します。(市役所は土・日曜日、市立図書館は月曜日を除く)

- 入賞者 鳥栖市長賞＝中島佑麻(鳥栖北小6年)、中村璃音(田代中2年) ▼鳥栖市議会議長賞＝増岡岳(麓小5年)、宇都宮優和(鳥栖中2年) ▼鳥栖市教育長賞＝永渕晴(若葉小6年)、森山美琴(鳥栖中1年) ▼入賞＝米丸愛菜(鳥栖小4年)、井筒幸希(鳥栖小6年)、印丸清十郎(田代小6年)、安倉蒼果(弥生が丘小5年)、伊東実花子(麓小4年)、山内瑚麻希(鳥栖中2年)、江藤大稀(基里中1年)、鶴本侑也(基里中3年)、森山優柚(鳥栖西中1年)、天野圭翔(鳥栖西中2年)



鳥栖市長賞受賞作品

にげてもいい 泣いてもいい 自分の心を大切に
鳥栖北小学校6年 中島 佑麻

大丈夫? 画面にうつる その言葉

田代中学校2年 中村 璃音



「記事ID」をご利用ください

市ホームページの記事ID検索窓に、市報に掲載しているIDを入力することで情報を確認できます。

市報 **こぶ**

2025.12 6